

平成 26 年 3 月 5 日

内閣官房副長官 加藤 勝信 殿

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

会 長 別所 正美  
(埼玉医科大学 学長)



副会長 岡村 吉隆  
(和歌山県立医科大学附属病院 病院長)

顧 問 吉村 博邦  
(北里大学 名誉教授)

顧 問 小川 彰  
(岩手医科大学 理事長・学長)

顧 問 森山 寛  
(東京慈恵会医科大学 名誉教授)

相談役 神保 孝一  
(札幌医科大学 名誉教授)

相談役 嘉山 孝正  
(山形大学 学長特別補佐)

相談役 寺野 彰  
(獨協学園 理事長)

相談役 河野 陽一  
(千葉大学 名誉教授)

相談役 中谷 晴昭  
(千葉大学 教授)

平成 26 年 3 月 5 日

声明：医療崩壊をもたらす医学部新設に反対します。

## 全国医学部長病院長会議

東北地方に震災復興のシンボルとして医学部新設を行う動きがあり、宮城県では医学部新設に向けての準備が加速しているとのことです。

全国医学部長病院長会議は、日本の将来の医師養成、および各地方の地域医療を守る立場から、医学部の新設に強く反対します。以下、その理由を列挙いたします。

### I. 医学部新設には多くの臨床医が必要です。

現在の候補病院の臨床系医師数は 50 名程度です。現存する規模の最も小さい医学部ですら臨床系医師数は約 250 名が必要です。医学部新設に当たっては、地域医療の中核を担う有能な病院勤務医約 200 名を医学部教員へ振り分ける必要があります。

### II. 東北以外の地方からであっても教員（臨床、基礎）の招聘は不可能です。

新設にあたっては、東北地方を中心とした被災地地域の病院医療が崩壊しない仕組（東北からは病院医師を引き抜かない—西日本から招聘）を作ると説明されています。しかし、現在の医療体制下では、医師数が多いとされる西日本でも病院勤務医、大学病院勤務師は不足であり、その余裕はありません。従って、わずかとは言え東北の病院医師が引き抜かれる可能性があります。

また、全国的にも基礎医学系教員の状況は厳しいものがあり、新設により各大学の基礎医学系教員の不足が加速されます。

### III. 病院は数名の医師減少で崩壊します。

一道県で 2~3 名なら、問題は無いとの議論もあります。病院経営に携わる自治体はよく理解していると思いますが、基幹病院ですら各診療科 1 名から数名の医師で診療に当たっています。たった 1 名の医師減少で、診療科の医療は崩壊し、一診療科の崩壊は、病院の崩壊に結びつき、病院の崩壊は全県の病院崩壊をもたらします。さらに、県を超えて地方の医療崩壊へ続いてゆき、広域で病院医療の崩壊が起こる事は、火を見るより明らかです。

IV. 既存の医師養成増の効果は来年から始まります。

6年前からの定員増(14~5大学を新設したと同義の1,416人)では未だ卒業生が輩出しておらず、効果は来年からとなります。この様に、卒業まで6年、一人前の医師になるには約10年が必要です。多額な投資を行って新設しても卒業生が一人前になるころには過剰時代で、いわゆる医師不足への効果はありません。

V. 2025年には医師数は世界標準に達します。

2025年には日本の医師数はOECD平均に達します。この時期、人口減少が続いている日本で世界標準以上に医師数を増員する意味はありません。2020年にはG7の平均に達します。

VI. 2019年には医学部定員削減にかじを切る必要があります。

医学部は6年教育です。2025年に医師の適正数が確保されれば、その6年前の2019年には定員削減を始めなければなりません。わずか6年後です。もし、これから医学部を新設すれば、準備、認可手続きなどを経て約4年後の2017年に入学生を迎えます。新設医学部の一期生が2年生に進んだ時期に、医学部定員減になるのでは学生が気の毒です。

VII. 過剰な医師数は医療レベルを下げ、国民の信頼を失います。

国民の求めている医師像は有能な医師です。日本の高い水準の医学教育とともに、日本の医療は世界がうらやむ世界一であるとされています。過剰な養成増は医師の粗製濫造につながり、むしろ国民の健康被害に結び付くこととなります。結果、国民の落胆は大きく、国のみならず地方の医療行政への不信は増すばかりとなります。

VIII. 地域偏在、診療科偏在解消で、いわゆる医師不足は解消します。

地域偏在、診療科偏在並びに大学や病院勤務医の減少が、いわゆる医師不足を増悪させています。効率的医療システムの下での偏在解消への医療政策変更で医師不足問題は解決します。

IX. 既存の大学での定員増は、経費は抑えられ、増減の調整も容易です。

今後、人口の減少などに伴い、医師過剰になった場合、新設された医学部を廃校にすることは困難です。医師不足に対しては、必要に応じて定員の増減が可能な既存の医学部における定員増減で調節するのが最も合理的です。既存の大学での定員増は、既にある教育施設の準用が可能で、経費は抑えられます。

# 全国医学部長病院長会議会員

|            |      |        |     |        |
|------------|------|--------|-----|--------|
| 北海道大学      | 医学部長 | 笠原 正典  | 病院長 | 寶金 清博  |
| 札幌医科大学     | 医学部長 | 黒木 由夫  | 病院長 | 平田 公一  |
| 旭川医科大学     | 学 長  | 吉田 晃敏  | 病院長 | 松野 丈夫  |
| 弘前大学       | 医学部長 | 中路 重之  | 病院長 | 藤 哲夫   |
| 岩手医科大学     | 医学部長 | 小林 誠一郎 | 病院長 | 酒井 明夫  |
| 東北大学       | 医学部長 | 大内 憲明  | 病院長 | 下瀬川 徹  |
| 秋田大学       | 医学部長 | 澤田 賢一  | 病院長 | 伊藤 宏   |
| 山形大学       | 医学部長 | 山下 英俊  | 病院長 | 久保田 功  |
| 福島県立医科大学   | 医学部長 | 大戸 斉   | 病院長 | 棟方 充   |
| 筑波大学       | 医学群長 | 原 晃    | 病院長 | 五十嵐 徹也 |
| 自治医科大学     | 学 長  | 永井 良三  | 病院長 | 安田 是和  |
| 獨協医科大学     | 学 長  | 稲葉 憲之  | 病院長 | 野原 裕   |
| 群馬大学       | 医学部長 | 和泉 孝志  | 病院長 | 野島 美久  |
| 防衛医科大学校    | 学校長  | 三浦 総一郎 | 病院長 | 野村 總一郎 |
| 埼玉医科大学     | 学 長  | 別所 正美  | 病院長 | 片山 茂裕  |
| 千葉大学       | 医学部長 | 横須賀 收  | 病院長 | 宮崎 勝   |
| 東京大学       | 医学部長 | 宮園 浩平  | 病院長 | 門脇 孝   |
| 東京医科歯科大学   | 医学部長 | 湯浅 保仁  | 病院長 | 田中 雄二郎 |
| 日本大学       | 医学部長 | 片山 容一  | 病院長 | 丹正 勝久  |
| 日本医科大学     | 学 長  | 田尻 孝   | 病院長 | 福永 慶隆  |
| 東邦大学       | 医学部長 | 高松 研   | 病院長 | 小原 明   |
| 東京医科大学     | 学 長  | 白井 正彦  | 病院長 | 坪井 良治  |
| 東京女子医科大学   | 医学部長 | 高桑 雄一  | 院長  | 永井 厚志  |
| 東京慈恵会医科大学  | 学 長  | 松藤 千弥  | 病院長 | 丸毛 啓史  |
| 慶應義塾大学     | 医学部長 | 末松 誠   | 病院長 | 竹内 勤   |
| 昭和大学       | 医学部長 | 久光 正   | 病院長 | 有賀 徹   |
| 順天堂大学      | 医学部長 | 新井 一   | 院長  | 高崎 芳成  |
| 杏林大学       | 医学部長 | 後藤 元   | 病院長 | 甲能 直幸  |
| 帝京大学       | 医学部長 | 滝川 一   | 病院長 | 中込 忠好  |
| 横浜市立大学     | 医学部長 | 齋藤 知行  | 病院長 | 平原 史樹  |
| 北里大学       | 医学部長 | 東原 正明  | 病院長 | 海野 信也  |
| 聖マリアンナ医科大学 | 学 長  | 三宅 良彦  | 病院長 | 幕内 晴朗  |
| 東海大学       | 医学部長 | 今井 裕   | 病院長 | 猪口 貞樹  |
| 山梨大学       | 医学部長 | 武田 正之  | 病院長 | 島田 眞路  |
| 新潟大学       | 医学部長 | 牛木 辰男  | 病院長 | 鈴木 榮一  |
| 信州大学       | 医学部長 | 福嶋 義光  | 病院長 | 天野 直二  |
| 富山大学       | 医学部長 | 村口 篤   | 病院長 | 塚田 一博  |
| 金沢大学       | 医学類長 | 山本 健   | 病院長 | 富田 勝郎  |
| 金沢医科大学     | 医学部長 | 横山 仁   | 病院長 | 川上 重彦  |
| 福井大学       | 医学部長 | 山口 明夫  | 病院長 | 和田 有司  |
| 岐阜大学       | 医学部長 | 清島 満   | 病院長 | 岩間 亨   |

|           |      |       |     |       |
|-----------|------|-------|-----|-------|
| 浜松医科大学    | 学 長  | 中村 達  | 病院長 | 瀧川 雅浩 |
| 名古屋大学     | 医学部長 | 高橋 雅英 | 病院長 | 石黒 直樹 |
| 名古屋市立大学   | 医学部長 | 浅井 清文 | 病院長 | 城 卓志  |
| 藤田保健衛生大学  | 医学部長 | 辻 孝雄  | 病院長 | 星長 清隆 |
| 愛知医科大学    | 医学部長 | 佐賀 信介 | 病院長 | 野浪 敏明 |
| 三重大学      | 医学部長 | 緒方 正人 | 病院長 | 伊藤 正明 |
| 滋賀医科大学    | 学 長  | 馬場 忠雄 | 病院長 | 松末 吉隆 |
| 京都大学      | 医学部長 | 湊 長博  | 病院長 | 三嶋 理晃 |
| 京都府立医科大学  | 学 長  | 吉川 敏一 | 病院長 | 福居 顯二 |
| 大阪大学      | 医学部長 | 金田 安史 | 病院長 | 吉川 秀樹 |
| 大阪市立大学    | 医学部長 | 荒川 哲男 | 病院長 | 石河 修彦 |
| 大阪医科大学    | 学 長  | 竹中 洋  | 病院長 | 黒岩 敏彦 |
| 関西医科大学    | 学 長  | 山下 敏夫 | 病院長 | 澤田 敏彦 |
| 近畿大学      | 医学部長 | 楠 進   | 病院長 | 工藤 正俊 |
| 神戸大学      | 医学部長 | 片岡 徹  | 病院長 | 藤澤 正人 |
| 兵庫医科大学    | 学 長  | 中西 憲司 | 病院長 | 太城 力良 |
| 奈良県立医科大学  | 学 長  | 吉岡 章  | 病院長 | 古家 仁  |
| 和歌山県立医科大学 | 医学部長 | 宮下 和久 | 病院長 | 岡村 吉隆 |
| 鳥取大学      | 医学部長 | 福本 宗嗣 | 病院長 | 北野 博也 |
| 島根大学      | 医学部長 | 大谷 浩  | 病院長 | 井川 幹夫 |
| 岡山大学      | 医学部長 | 吉野 正  | 病院長 | 旗野 博史 |
| 川崎医科大学    | 学 長  | 福永 仁夫 | 病院長 | 園尾 博司 |
| 広島大学      | 医学部長 | 吉栖 正生 | 病院長 | 茶山 一彰 |
| 山口大学      | 医学部長 | 坂井田 功 | 病院長 | 田口 敏彦 |
| 徳島大学      | 医学部長 | 寺原 繪  | 病院長 | 安井 夏生 |
| 香川大学      | 医学部長 | 森 望   | 病院長 | 千田 彰一 |
| 愛媛大学      | 医学部長 | 安川 正貴 | 病院長 | 檜垣 實男 |
| 高知大学      | 医学部長 | 橋本 良明 | 病院長 | 杉浦 哲朗 |
| 九州大学      | 医学部長 | 片野 光男 | 病院長 | 久保 千春 |
| 産業医科大学    | 医学部長 | 金澤 保  | 病院長 | 松本 哲朗 |
| 佐賀大学      | 医学部長 | 藤本 一真 | 病院長 | 宮崎 耕治 |
| 福岡大学      | 医学部長 | 朔 啓二郎 | 病院長 | 田村 和夫 |
| 久留米大学     | 医学部長 | 内村 直尚 | 病院長 | 坂本 照夫 |
| 長崎大学      | 医学部長 | 下川 功  | 病院長 | 河野 茂  |
| 熊本大学      | 医学部長 | 竹屋 元裕 | 病院長 | 谷原 秀信 |
| 大分大学      | 医学部長 | 守山 正胤 | 病院長 | 野口 隆之 |
| 宮崎大学      | 医学部長 | 迫田 隅男 | 病院長 | 池ノ上 克 |
| 鹿児島大学     | 医学部長 | 佐野 輝  | 病院長 | 熊本 一朗 |
| 琉球大学      | 医学部長 | 松下 正之 | 病院長 | 國吉 幸男 |

以上 160名